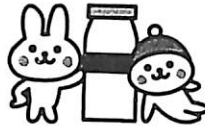


がつきゅうしょく 1月給食だより



練馬区立石神井西小学校 校長 山口 義一

栄養士 庄司 智子



早寝早起き朝ごはん 「早寝早起き朝ごはん」運動シンボルマーク

新年 謹賀



いよいよ1年の締めくくりとなる3学期が始まりました。風邪やインフルエンザなどの感染症が流行していますので、引き続き、手洗い・うがいの徹底と、栄養バランスの良い食事を心がけて予防に努めましょう。学校給食においても、より一層、衛生面に細心の注意を払い、安全でおいしい給食を提供できるように取り組んでいきたいと思っております。本年もよろしくお願ひ致します。



☆ 今月の献立 ☆

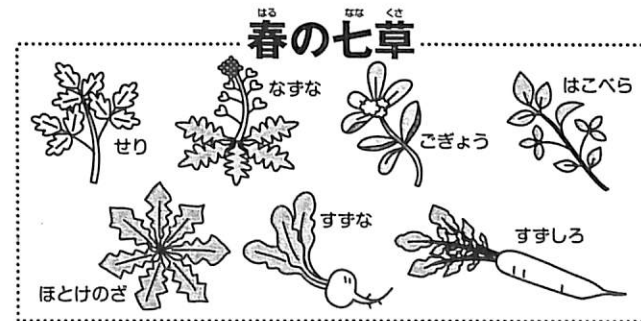
- 11日(金) 豚肉のしぐれごはん・焼きししゃも・七草風白玉団子スープ
 - ・・・七草風白玉団子スープは、鏡開きにちなんだメニューです。
- 22日(火) ナン・キーマカレー・ごまポテト
 - ・・・昭和57年に全国学校栄養士協議会が、1月22日の給食のメニューをカレーにすることを決め、全国の小中学校で一斉にカレー給食を出しました。それにちなんで、1月22日は「カレーの日」になりました。
- 28日(月) ☆ 今月のオリンピック・パラリンピックメニュー ～日本・沖縄～ ☆
 - ししじゅうしいいなむどうち・人参しりしり
 - ・・・ししじゅうしいの「しし」は豚肉、「じゅうしい」は混ぜごはんを表す言葉です。いなむどうちは、お祝いの日に食べる沖縄のみそ汁で、白みそを使って味付けをします。人参しりしりの「しりしり」は、沖縄の方言で「干切り」という意味があります。

全国学校給食週間

1月24日～30日

全国学校給食週間は昭和25年度から始まった取り組みで、毎年、学校給食への理解や関心を深めることを目的に実施されます。学校給食は、もともと貧しい子どもたちを飢えから救い、栄養状態を改善させるためのものですが、現在では役割が大きく変わり、子どもたちが望ましい食習慣や食に関する正しい知識、実践する力を身につけるための重要な役割を担っています。

| | | |
|--|--|---|
| <h3>昔の学校給食について知ろう!</h3> | <h3>明治 22(1889)年～</h3> <p>やまがたけんつるおがまち 山形県鶴岡町の小学校で、貧しくて弁当を持ってこれない子のために、ご飯と魚や野菜を中心とした食事を提供したのが学校給食の始まり。その後、全国へと広がるが、戦争による食料難で中止される。</p> | <h3>昭和 22(1947)年～</h3> <p>戦後、LARA(アジア救済公認団体)から寄贈された脱脂粉乳・缶詰・シチューの素などの物資を使い、学校給食が再開される。</p> |
| <h3>昭和 25(1950)年～</h3> <p>アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まる。</p> | <h3>昭和 38(1963)年～</h3> <p>ソフトめんが開発され、人気メニューに。翌年には牛乳の本格供給が始まり、脱脂粉乳から牛乳へと切り替えが進む。</p> | <h3>昭和 51(1976)年～</h3> <p>べいはん給食が正式に始まり、カレーライスや炊き込みご飯、ピラフなどが登場し、メニューの幅が広がっていく。</p> |



1月7日の「人日の節句」に、刻んだ七草をおかゆに入れて食べ、無病息災を願います。正月料理で疲れた胃腸を労わる意味もあります。

学校給食費の納入にご協力をお願いします。引き落とし日は1月4日です。